

「丸善」創業150周年記念連続講演会

1869年に早矢仕有りが創業した「丸善」は、おかげさまで、2019年1月に150周年を迎えました。これを記念し、このたび、丸善雄松堂は、これまで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちを込め、全11回の連続講演会を開催いたします。当講演会では、「人はなぜ、まなぶのか」をテーマとし、様々な分野の研究のトップランナーを講師にお招きして、人生100年時代を生きるまなびについてご講演いただきます。いつの時代も「知」に寄り添い、人の心と、その道程の先に知を鑑すことをミッションとする当社がお届けする、「11のまなび」をご堪能ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



知を鑑す
11のまなび



2019年12/25

(水)

18:30~20:30

18:00 開場

定員 200名 参加無料

日比谷図書文化館 B1F 大ホール

「学魔」高山宏が語る 漱石『夢十夜』を十一夜に

講師：高山 宏氏
(大妻女子大学副学長)

何かを学ぶとはどういう行為なのか、素材に誰しもの知る夏目漱石の名作『夢十夜』(1908)中、時間の関係上2篇を選んで(1)精読する(2)蓄積された文学史・文化史の教養を抜き出す/適用してみる、という方法で縦横に「解釈」してみせる。そうやって『夢十夜を十夜で』(2011、羽鳥書店)という本を世に問うたら、研究ではないとして学界は無視、読書界一般は文豪観・文学観から人生まで一変したという評。一体学ぶとは?と問う。



1947年生まれ。東京大学大学院修士課程修了、英文学専攻。東京都立大学教授を経て、明治大学教授、大妻女子大学教授、2017年同大学副学長。専門は、17世紀綺想派詩人とマニエリスム演劇。文学のみならず、美術、建築、文化史、思想史、哲学、デザイン、大衆文学、映画、江戸文化、コミック他諸々の学問領域を「横断」した各種論文、エッセイを執筆。異端の人文学者、学魔とも称される。主なる著書に、『目の中の劇場』『ふたつの世紀末』『綺想の饗宴』(いずれも青土社)ほか。訳書に、L・キャロル『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』を訳すこと5回、B・スタッフォード『アートフル・サイエンス』ほか多数。

「丸善」創業 150 周年記念連続講演会

入場無料

しも
矢口を 燈す
11のまなび

特設サイトにて最新情報を公開中!

講演会お申し込みはこちらから
<http://150th.maruzen.co.jp/manabi11/>
お申し込みの受付は先着順となります。



9 12/25 水
18:30~20:30
日比谷図書文化館 大ホール
定員: 200名
参加費: 無料

「学魔」高山宏が語る
漱石『夢十夜』を十一夜に

高山 宏氏
(大妻女子大学 副学長)

専門は 17 世紀綺想派詩人と マニエリスム演劇。文学のみならず、美術、建築、文化史、思想史、哲学、デザイン、大衆文学、映画、江戸文化、コミック他諸々の学問領域を「横断」した各種論文、エッセイを執筆。異端の人文学者、学魔とも称される。主なる著書に『目の中の劇場』(青土社)など。訳書に、L・キャロル『鏡の国のアリス』他、多数。

10 1/29 水
2020.
18:30~20:30
日比谷図書文化館 大ホール
定員: 200名
参加費: 無料

小説とは何か? (仮)

磯崎 憲一郎氏
(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院環境・社会理工学院社会・人間科学系教授、小説家(第141回芥川賞受賞))

40歳を前に小説を書き始め、三井物産勤務の傍らで2007年『肝心の子供』で第44回文藝賞受賞。2008年『眼と太陽』(第139回芥川賞候補)などを経て、2009年『終の住処』で第141回芥川賞受賞。2011年『赤の他人の瓜二つ』でドゥマゴ文学賞受賞。2013年『往古来今』で泉鏡花文学賞受賞。2015年9月、三井物産を退社。2018年より自身が受賞・デビューした文藝賞の選考委員を務める。

11 日時・会場: 未定
松岡 正剛氏 (予定)
(編集工学者、編集工学研究所所長、インス編集学校校長)

これまでのまなび

- 1 ヒトはなぜ文明を築けるのか? ヒトの進化史とその未来 [4/25(木) 開催終了]
長谷川 真理子氏 (総合研究大学院大学学長)
- 2 国語教育と文学の現在 (いま) [5/17(金) 開催終了]
紅野 謙介氏 (日本大学文理学部教授・学部長)
- 3 強い AI、弱い AI [6/27(木) 開催終了]
鳥海 不二夫氏 (東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻准教授)
- 4 宇宙はいかに誕生したのか? ~物理学と天文観測によって描く創世記 [7/17(水) 開催終了]
佐藤 勝彦氏 (日本学術振興会 学術システム研究センター所長)
- 5 知の再武装の時代に向けて [8/8(木) 開催終了]
寺島 実郎氏 (財) 日本総合研究所会長、多摩大学学長、一般社団法人寺島文庫 代表理事)
- 6 正倉院宝物と聖語蔵経巻の魅力/天平写経と一切経—その魅力に迫る— [9/13(金) 開催終了]
飯田 剛彦氏 (宮内庁正倉院事務所保存課長、奈良女子大学大学院客員教授)
落合 俊典氏 (国際仏教学大学院大学理事長、日本古写経研究所所長)
- 7 荒俣流愛書のススメ! ~古書の魅力と収集の愉しみ~ [10/14(月・祝) 開催終了]
荒俣 宏氏 (作家・博物学者)
- 8 身体多様性の時代 [11/22(金)]
講師: 伊藤 亜紗氏 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授)

「11のまなびスタンプラリー」の応募/抽選商品について

各回、受付で専用の台紙にスタンプを押印する《11のまなびスタンプラリー》では、抽選で合計50名様に素敵なプレゼントをお贈りします! 応募受付は第8回講演会(11月22日(金))より開始します。



特設サイトにて応募方法公開中!

<https://bit.ly/2CxhUnr>



スタンプ1個以上の押印でご応募できます。集めたスタンプの数が多いほど当選対象賞品が増えます。
[スタンプ数が11個] 1等、2等、3等、4等
[スタンプ数が1個以上] 3等、4等

抽選賞品一覧

※抽選賞品は選べません。ご了承ください。

- 1等 「講師陣直筆の寄せ書きメッセージ入り丸善創業150周年記念ノート」(3名)
- 2等 「丸善創業150周年記念グッズ」(6名)
- 3等 「知を燈す1冊」※講演会関連書籍(11名)
- 4等 「丸善創業150周年記念ブックカバー」(30名)

「丸善」創業150周年連続記念講演会の公式 Twitter ハッシュタグをつけて、講演会をつぶやこう!

#11のまなび

「丸善」創業150周年記念連続講演会に参加して心に灯った知を言葉にしてみませんか。ハッシュタグ「#11のまなび」をつけて Twitter で投稿し、友人や家族、恋人に講演会の魅力を伝えてください。みなさんの投稿をお待ちしています!

公式 Twitter
https://twitter.com/150th_manabi11
@150th_manabi11



影響を受けた「私の3冊」

会場で各回の講師のみなさんの〈影響を受けた「私の3冊」〉とご著書のリストをプレゼントしています! それらの書籍は、丸善雄松堂が運営する購買サイト Knowledge Worker でご購入いただけます。詳細は講演会特設サイト「講演会情報」ページよりご覧ください。



お問い合わせ

丸善雄松堂株式会社「150周年記念連続講演会」事務局
mail: manabi11@maruzen.co.jp